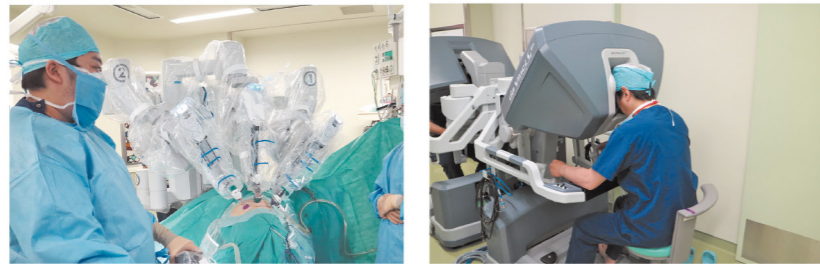


# 泌尿器科



## ① 診療科の紹介

泌尿器科では副腎疾患や腎・尿管・膀胱といった尿路疾患、前立腺や精巣などの生殖器疾患の診断・治療を行います。愛媛大学泌尿器科では、外科手術として腎や副腎、前立腺、膀胱の開放手術や鏡視下手術、尿路結石に対する内視鏡的手術、女性泌尿器科手術、小児泌尿器科手術等を行っています。特に、da Vinciによるロボット手術を積極的に行っています。また、透析治療を担当しており血液透析導入時の内シャント作成から腎移植まで腎不全治療についても幅広く行っています。それぞれの成果については学会、論文にて広く公表しています。



## ② プログラムの目的と特徴

泌尿器科研修プログラムによる専門研修により、「泌尿器科医は超高齢社会の総合的な医療ニーズに対応しつつ泌尿器科領域における幅広い知識、錬磨された技能と高い倫理性を備えた医師である」という基本的姿勢のもと、泌尿器科専門知識、泌尿器科専門技能：診察・検査・診断・処置・手術、継続的な科学的探求心の涵養、倫理観と医療のプロフェッショナリズムの4つのコアコンピテンシーからなる資質を備えた泌尿器科専門医になることを目指します。

### 研修システムの概要

愛媛大学泌尿器科専門研修プログラムは愛媛大学医学部附属病院を中心としたいくつかの診療拠点病院と地域医療を担う地方中核病院の2群から構成されています。研修修了時には、泌尿器科専門医に必要な知識や技能の習得と同時に、地域医療との連携や他の専門医への紹介・転送の判断も的確に行える能力を身につけることができるよう配慮しました。また極力均等な研修の機会を得られるよう配慮しています。コース選択は、高い臨床実施能力の獲得とサブスペシャリティー（泌尿器科癌、腎移植、透析治療、小児泌尿器科、女性泌尿器科など）確立を目指す臨床修練コースと、学術的な涵養を目的とした大学院進学コースのどちらかを選択することができます。

## ③ 経験目標

専門研修では、それぞれ医師に求められる基本的診療能力・態度（コアコンピテンシー）と日本泌尿器科学会が定める「泌尿器科専門研修プログラム基準 専攻医研修マニュアル」にもとづいて泌尿器科専門医に求められる知識・技術の修得目標を設定し、その年度の終わりに達成度を評価して、基本から応用へ、さらに専門医として独立して実践できるまで着実に実力をつけていくように配慮します。

## ④ 指導医や指導体制

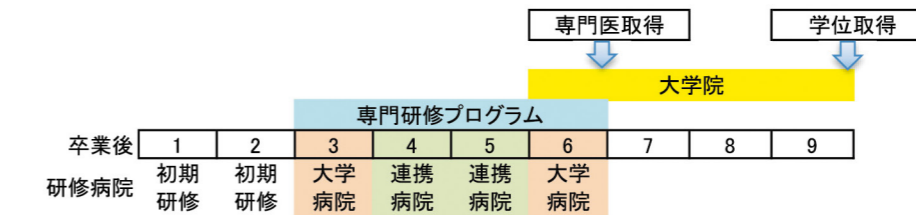
大学病院においては、泌尿器科専門医である指導医とペアになり日々の診療を行います。泌尿器科検査や経験に応じて手術の執刀を指導医の指導のもと行います。指導医は年に1~2回交代します。関連施設においては、泌尿器科指導医が部長であり医師が2名以上いる施設における研修となります。

## ⑤ 研修に関する行事

- ・ 毎週月曜日に手術症例検討会、毎週水曜日に症例検討会
- ・ 毎週火曜日に腎臓内科と合同で透析カンファレンス
- ・ 毎週火曜日に医局抄読会（臨床や研究に関する論文の紹介を行う）および医局会
- ・ 手術日（月、水、金曜日）
- ・ 透析治療日（月、水、金曜日、緊急時は状況に応じて対応）
- ・

## ⑥ 新専門研修プログラムについて

大学院進学コース



臨床修練コース



### 関連病院

- 中予：  
愛媛県立中央病院  
松山赤十字病院  
四国がんセンター  
松山市民病院  
済生会松山病院
- 東予：  
愛媛県立今治病院  
済生会今治病院  
住友別子病院
- 南予：  
市立宇和島病院  
市立八幡浜病院  
市立大洲病院
- 県外：  
香川県済生会病院  
佐賀大学医学部附属病院

## ⑦ 研修終了後について

各自の希望に沿い、大学院進学コースでは海外留学も視野に入れた大学院での修練へ、また臨床修練コースでは大学病院における研究と臨床医療、市中病院でのより実践的な臨床医療、開業などの選択肢があります。

## ⑧ 専門研修の問い合わせ先

医局 TEL : 089-960-5356 FAX : 089-960-5358

URL: <http://www.m.ehime-u.ac.jp/school/urology/>

三浦徳宣(E-mail [miura.noriyoshi.mk@ehime-u.ac.jp](mailto:miura.noriyoshi.mk@ehime-u.ac.jp))

宮内勇貴(E-mail [uroyuukictb12@yahoo.co.jp](mailto:uroyuukictb12@yahoo.co.jp))